

こんな症状はありませんか？

思い当たる方は、早めに獣医師にご相談ください

よく水を飲む

おしっこの量や回数が増えた

食欲がなく、やせてきた

寝てばかりいて、元気がない

食べ物をもとず

毛づやが悪くなった



監修 麻布大学獣医学部助教授 渡邊 俊文



7~8歳以上の
猫ちゃんは要注意！

腎臓が70~80%以上の機能を失って
はじめて症状が出てきます。

猫の慢性腎不全について

FORTEKOR®

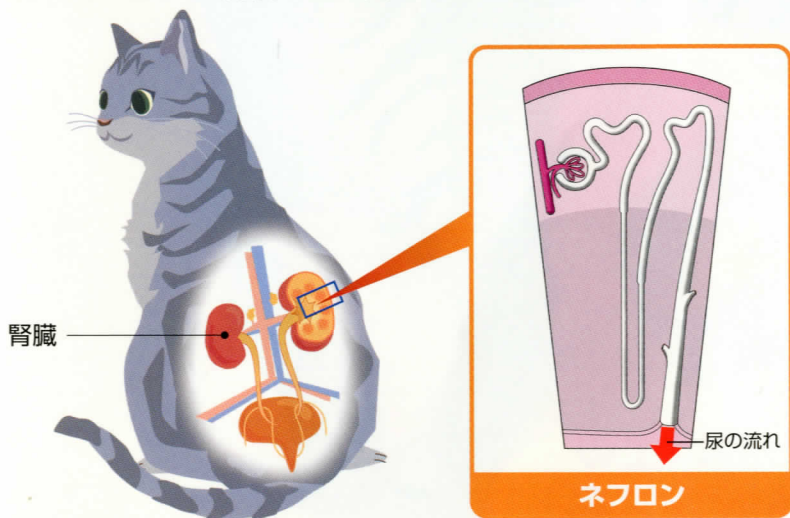
製造販売者
ノバルティス アニマルヘルス株式会社
〒105-6137 東京都港区浜松町二丁目4番1号
Tel:0120-162-419 Fax:03-3435-4012

猫ちゃんの慢性腎不全とは？

腎臓ってどんな臓器？

腎臓は、1対の臓器で、“体の中を健康な状態に保つ”ために仕事をしています。特に大切なのは、腎臓では体の血液をろ過して、おしっこが作られることです。このおしっこの中に体内で不必要な老廃物が排出され、体の中に毒素がたまらないようにしています。

肉眼では確認できませんが、腎臓は“ネフロン”と呼ばれる単位が集まってできています。そして、腎臓の主な働きはこのネフロンで行われるのです。



ネフロン：
ネコの腎臓には
腎臓1個あたり
20万個のネフ
ロンがあります。

腎臓の主な働き

健康な腎臓

- 1 体内の老廃物をおしっことして排泄
- 2 体の水分が一定になるようにおしっこの量で調節
- 3 電解質やミネラルの調節
- 4 赤血球をつくるのに必要なホルモンの分泌
- 5 カルシウムの吸収に必要なビタミンDの活性化

慢性腎不全とは？

一部のネフロンが何らかの原因で壊れると、他のネフロンはその分も働こうと無理をして自らも壊れていきます。こうして働けるネフロンの数が少しずつ減り、腎臓が機能を果たせなくなっていくことを慢性腎不全といいます。

一度壊れたネフロンは元には戻らないので、慢性腎不全は完全に治すことは出来ませんが、食事の改善、お薬などで病気の進行を遅らせることができます。

▶ 発症

どの年齢の猫ちゃんにも発症することが考えられますが、7～8歳くらいから増加し、発症率は10歳で5%、15歳で15%、20歳で20%であると報告されています。

▶ 原因

多くの原因が考えられ、明確にすることが難しい場合が多いです（腎臓の炎症、腫瘍、先天的異常、細菌やウイルス感染などの全身性の疾患など）。

慢性腎不全になると…

- 体内の老廃物がたまる → 嘔吐など
- おしっこの量が増える → 体内の水分量低下(脱水)
- 電解質やミネラルのバランスがくずれる → 食欲不振
- 赤血球の数が減る → 貧血
- カルシウムの吸収がうまくできなくなる → 骨がもろくなる

見られる症状

症状がなくても慢性腎不全は進行しています

慢性腎不全では、壊れたネフロンがあっても健康なネフロンがその分働いているため、なかなか猫ちゃんには症状があらわれません。ネフロンは1度壊れると再生しません。飼い主さんが気付くような症状が出る頃には、すでに全体のネフロンの75%が壊れているといわれています。



慢性腎不全の症状の多くは病気が進行している状態でみつかります。

慢性腎不全でみられる症状

- よく水を飲む
- おしっこに行く回数が増える
- 食欲不振
- 嘔吐
- 下痢
- 体重減少
- 毛づやが悪い
- 胃炎
- 貧血
- 骨が弱くなる
- 口臭
- 昏睡状態
- 失明

検査

明らかな症状が出たときにはすでに慢性腎不全はかなり進行しています。早期発見のためには、猫ちゃんが健康そうにみえても、定期的に獣医師のところで尿検査や血液検査をしてもらうことがとても大切です。

尿検査	慢性腎不全の初期に異常を示すのは尿検査のみのことが多いとされています。尿の比重が下がっていたり(=おしっこがうすい)、普段は出ていない蛋白が尿中に含まれます。
血液検査	腎臓の約75%が壊れると、血液検査の結果に異常があらわれます。BUN(尿素窒素)やクレアチニンなどの老廃物は、腎臓がダメージを受けているとうまく排泄されないため、血中にたまり血液検査で高値を示します。
血圧測定	慢性腎不全の猫ちゃんの約30%に高血圧があるといわれています。高血圧は特に眼や脳に障害を与えるため、眼底出血や失明がおこることがあります。

その他、エコーやレントゲン、眼底検査など必要な場合があります。

治療法

慢性腎不全は進行性の病気のため、完全に治すことはできませんが、早期に病気を発見し、適切な治療をはじめることで病気の進行を遅らせ、猫ちゃんのQOL(クオリティオブライフ；生活の質)を上げることができます。

主な治療方法には以下のようなものがあります。獣医師の指示にしたがって治療を進めましょう。

環境改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 新鮮なお水をいつでも飲めるようにする ● おしっこに行きやすいようにトイレを清潔にする
食餌療法	<ul style="list-style-type: none"> ● リンや蛋白を制限した処方食 ● 塩分を制限する
薬物療法など	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸液(水分を補う) ● フォルテコール®(ACE阻害剤) ● 経口吸着剤(毒素がたまるのを緩和する)

フォルテコールとは？

フォルテコールは、ACE阻害剤という種類のお薬で、全身の血圧および腎臓の中の血圧を下げるお薬です。血圧を下げることで、残っているネフロン（腎臓の働き手）の負担を軽くし、蛋白がおしっこに漏れ出るのを防いだり、ネフロンが壊れるのを防いで、慢性腎不全の進行を遅らせます。

その結果、食欲がでて体重が増えたり、元気が出たりして、猫ちゃんのQOLの改善が期待できます。

食欲の改善（投与12ヵ月後）



食欲が改善
95%

フォルテコール
治療グループ

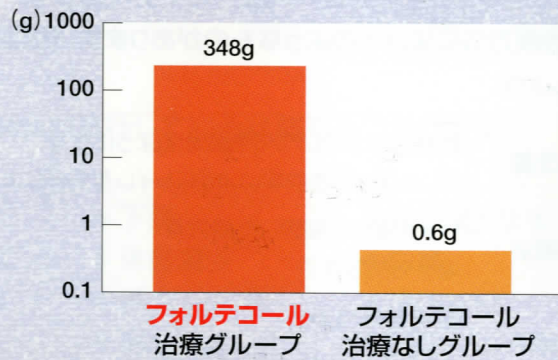


食欲が
改善
31%

フォルテコール
治療なしグループ

※尿蛋白/クレアチニン比>1の症例を対象

治療による体重の増加（投与12ヵ月後）



フォルテコール
治療グループ

フォルテコール
治療なしグループ

※尿蛋白/クレアチニン比>1の症例を対象

● 獣医師の指示に従って服用して下さい。

出典：BENRIC, Novartis Animal Health Inc. data on file

飼い主さんへのメッセージ

慢性腎不全は猫ちゃんが元気にみえても少しずつ確実に進行しています。



- 病気の早期発見、早期治療が重要です。
- 定期的に尿や血液の検査などの健康診断を受けましょう。



飼い主さんの家庭内看護が
とても大切です

おうちで気をつけてほしいこと

新鮮な水をいつでも飲めるようにする

トイレは猫ちゃんの好みにあったものを選び、清潔にしておく

ストレスのかからない環境をつくる

獣医師の指示に従って、適切な食餌を与える

1日のおしっこの回数や量を時々気をつけてみる

